

2015年度国際版画美術館事業報告書【展覧会版】

展覧会名	「ベスト・セレクション 町田市立国際版画美術館の名品」展			担当者名	学芸係 和南城愛理					
会期	2015年10月31日(土)～11月23日(月・祝)			開催日数	21日間					
協賛・後援・協力	なし。									
巡回館	なし。									
展覧会概要	2階企画展示室の大規模修繕工事後、最初の展覧会。「古今東西の版画の流れが分かるコレクション」を目標に続けている収集活動の成果を、デューラー『小受難伝』や歌川広重『東海道五拾三次』をはじめとする名品約180点で紹介した。									
ねらい・対象	長期にわたる休館ののち、リフレッシュオープンを強く印象づける必要があったが、工事の状況により会期が流動的で、借用を伴う大型企画展はできなかった。当館の収蔵品のなかから名品を展示することで、ふたつの要請に応えることができたと思う。対象は再オープンを楽しみにしてくれていた市民を主に考えた。									
関連催事	催事名	開催日	タイトル	講師等	参加者数					
	学芸員ギャラリートーク	11月1日(日)	学芸員ギャラリートーク	当館学芸員 村瀬・和南城	40					
	学芸員ギャラリートーク	11月7日(土)	学芸員ギャラリートーク	当館学芸員 高木	35					
	学芸員ギャラリートーク	11月23日(月・祝)	学芸員ギャラリートーク	当館学芸員 滝沢・藤村	50					
	館長ギャラリートーク	11月15日(日)	館長ギャラリートーク	国際版画美術館 村田館長	40					
	プロムナードコンサート	11月14日(土)	プロムナードコンサート	ピアニスト 後藤 泉 氏	195					
	ゆうゆう版画美術館まつり	11月7日(土)・8(日)	第17回ゆうゆう版画美術館まつり	友の会との共催	5,040					
観覧料	一般	65歳以上	大・高生							
	600 円	300 円	300 円							
観覧者数 (11/23現在)	有料計	無料計	総観覧者数	内、一般	内、65歳以上	内、大・高生	内、小・中生	内、その他		
	2,508 人	2,444 人	4,952 人	3,709 人	887 人	102 人	254 人	— 人		
	目標値								3,570 人	
主な収入 (11/23現在)	観覧料収入		図録販売収入		受託販売収入		その他の特定財源			
	991 千円		— 千円		— 千円		— 千円			
主な事業経費 (2016/1/28現在)	【展覧会開催経費】 1,657千円 ・協力謝礼 5千円 ・ポスター等作成委託料 379千円 ・ディスプレイ作成業務委託料 399千円 ・マット装額装業務委託料 424千円 ・作品展示撤去作業委託料 373千円 ・著作権使用料 77千円 【プロムナードコンサート】 20千円 ・演奏謝礼 20千円 【ゆうゆう版画美術館まつり】 850千円 ・負担金 850千円							2,527 千円		

展覧会名	「ベスト・セレクション 町田市立国際版画美術館の名品」展		担当者名	学芸係 和南城愛理		
主な広報・取材等の講評	特になし。					
アンケート結果	回収数	回収率	市民率	リピーター率	満足度(とても良かったと良かったの率)	
	260 件	5.25 %	49.0 %	70.77 %	企画の内容	展示作品
	92.3 %	89.6 %	72.3 %			
	主なご意見	別紙のとおり。				
反省点と改善方法	予備調査	展覧会としての統一したテーマがないため、収蔵作品のデータ整理が中心。				
	作品選択	各担当者に代表作を選択してもらった。バラエティに富んだ内容となった。				
	図録作成	なし。				
	会場設営	一部、照明の暗い部分があり、解説が読みにくいようだった。				
	ディスプレイ	会期が短く、準備直前まで中止の可能性もあったので、最低限のものにとどめた。				
	広報	同上の理由で積極的な広報が行えなかったため、メディアへの掲載は少なかった。ポスターの配布をやや早め、また、会期前の早い時期から玄関前に展覧会の予告バナーを掲示するなど、近隣住民を意識した広報を行った。展覧会アンケートの結果では、市民が来場者の半数を占めていた。これは、効果があったとも、市外へのアピールが弱かったともいえるが、上述の事情を考慮すると致し方ないだろう。				
その他特記事項	例年は10月中旬に開催している「ゆうゆう版画美術館まつり」について、友の会と協議した上で11月の「ベスト・セレクション」展開催時に実施することで、大規模修繕工事後のリフレッシュ・オープン記念とした。日数が少ない展覧会にもかかわらず、このことも目標数を上回る観覧者数を迎える効果となったと考えられる。					